癲狂院外景

富永太郎

青空文庫

夕暮の癲狂院は寂寞(ひっそり)として
苔ばんだ石塀を囲らしてゐます。
中には誰も生きてはゐないのかもしれません。

看護人の白服が一つ
暗い玄関に吸ひ込まれました。

むかふの丘の櫟林の上に
赤い月が義理で上(のぼ)りました
（ごくありきたりの仕掛です）。

青い肩掛のお嬢さんが一人
坂をあがつて来ます。
ほの白いあごを襟にうづめて
唇の片端が思ひ出し笑ひに捩(よ)ぢれてゐます。

――お嬢さん、行きずりのかたではありますが、
石女(うまずめ)らしいあなたの眦(まなじり)を
崇めさせてはいたゞけませんか。
誇らしい石の台座からよほど以前にずり落ちた
わたしの魂が跪いてさう申します。

――さて、坂を下りてどこへ行かうか……
やつぱり酒場か。

これも、何不足ないわたしの魂の申したことです。

青空文庫情報

底本：「富永太郎詩集」現代詩文庫、思潮社
1975（昭和50）年7月10日初版第1刷
1984（昭和59）年10月1日第6刷
底本の親本：「定本富永太郎詩集」中央公論社
1971（昭和46）年1月
入力：村松洋一
校正：川山隆
2014年3月7日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

癲狂院外景

富永太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/